

建産協が考える

健康に資する建材・設備



選定のポイント / 性能リスト

《内装建材編》



健康に資する建材・設備【内装建材編】＜選定のポイント / 性能リスト＞ 目次

- ・『健康に資する住宅』の要素
- ・『健康に資する建材・設備』の要素
- ・部位別の健康に資するキーワード
- ・＜選定のポイント＞ ＜求められる性能＞ 内装建材3カテゴリー
- ・＜内装建材＞ 室内ドア・引き戸
- ・＜内装建材＞ 床材（畳も含む）
- ・＜内装建材＞ 壁材・天井材

『健康に資する住宅』とは？ ➡ 住む人の健康の維持を図り、快適な居住環境を提供するよう設計・施工された住宅

以下に、『健康に資する住宅』を構成する要素を記しています。

『健康に資する住宅』の7要素

温熱環境

快適な室内温度の維持

空気環境

良質な空気の確保

光・視環境

自然光の積極的な活用

音環境

静かな住空間の実現



安全対策

身体負荷軽減の配慮

快適環境

心地よさ・安らぎの追求

清潔環境

衛生的な状態の維持

● 住宅を構成する部位である、建材/設備について

『健康に資する建材/設備』とは？

以下の7つの要素において一定水準以上の性能を持つものとしています。

『健康に資する建材・設備』の要素

温熱	温熱環境	快適な室内温度を維持できる断熱性能/遮熱性能があること
空気	空気環境	きれいな空気品質に影響しない素材であること
光	光・視環境	自然光の積極的活用や眩しさに配慮されていること
音	音環境	静かで快適な住空間となる遮音性能／吸音性能があること
安全	安全対策	身体負担軽減の配慮がなされていること
快適	快適環境	心地よさ・安らぎを実現できる機能があること
清潔	清潔環境	衛生的な状態を維持できる形状・素材・機能があること

それでは7つの要素から、それぞれ部位別に、健康に資するキーワードを押さえておきましょう。

各々の建材・設備にはいろいろな要素があります。
それらが集まることによって安心、快適、そして健康へつながると考えています。

窓 (サッシ+ガラス)

- 温熱 あたたかい室内
- 空気 きれいな空気
- 光 明るさ
- 音 静かさ

内窓

- 温熱 あたたかい室内
- 空気 きれいな空気
- 音 静かさ

室内ドア・引き戸

- 安全 安全面の配慮がある
- 清潔 清潔に保つ

洗面台

- 温熱 あたたかい室内
- 安全 安全面の配慮がある
- 清潔 清潔に保つ

バスルーム

- 温熱 あたたかい室内
- 安全 安全面の配慮がある
- 清潔 清潔に保つ

トイレ

- 温熱 あたたかい室内
- 安全 安心して使える
- 清潔 衛生面の配慮がある

床材 (畳も含む)

- 空気 きれいな空気
- 安全 安全面の配慮がある

壁材・天井材

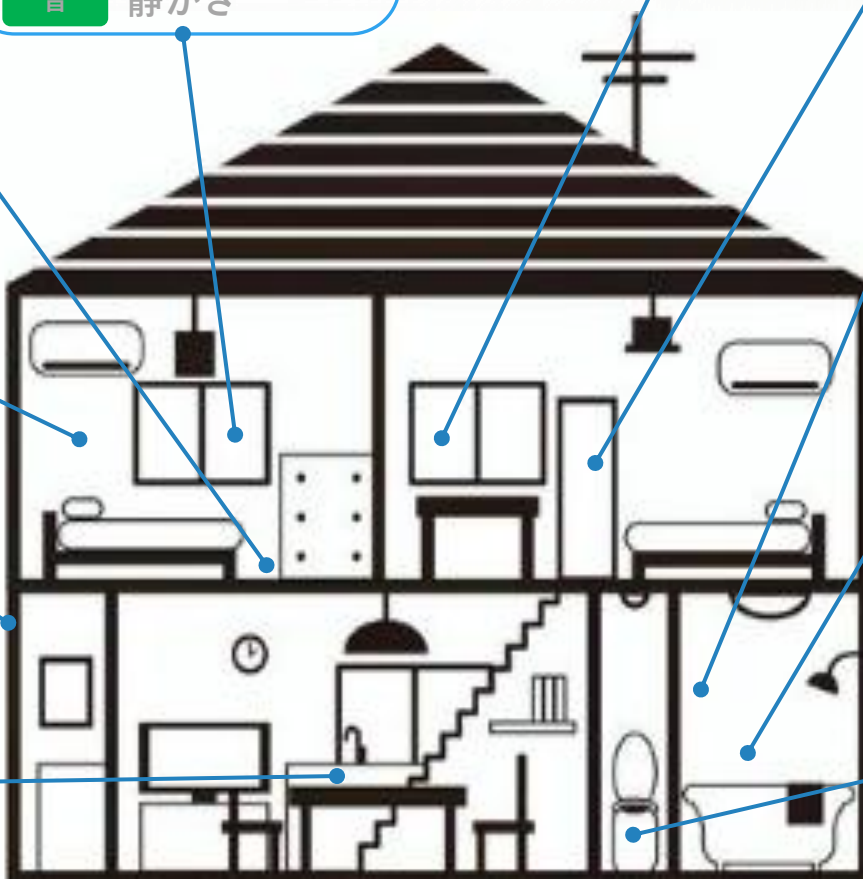
- 空気 きれいな空気
- 快適 こちよい室内

断熱材

- 温熱 あたたかい室内
- 空気 きれいな空気

キッチン

- 安全 周囲とコミュニケーションしやすい
- 安全 楽な姿勢で使える
- 清潔 掃除がしやすい



これ以降、部位別に『健康に資する建材/設備』の

＜選定のポイント＞

＜求められる性能＞

第2弾として選定しているのは

■ 内装建材：

室内ドア・引き戸 床材（畳も含む） 壁材・天井材

の3カテゴリーです。

※ 各部位ごとの ＜おすすめの商品＞ は、別紙『健康に資する建材/設備【製品リスト】』
を、ご参照ください。

<内装建材>

室内ドア・引き戸

健康に資する室内ドア・引き戸 <選定のポイント>

健康への 影響

室内ドア・引き戸は、急に戸が閉まったりすることで思わぬ事故を招いたり、床のレールや段差部分で、つまづいたり、転倒の可能性があるため、安全への配慮が望まれます。
<想定される健康リスク>
・指はさみ、つまづき、転倒

室内ドア・引き戸の取っ手は、居住者が手を触れることの多い部分です。ウイルスや菌による家庭内感染を抑制するには、これらを清潔で衛生的に保つことが重要です。また、掃除がしやすいこともポイントになります。
<想定される健康リスク>
・ウイルス、菌による感染症

安全

安全面の配慮がある

清潔

清潔に保つ

選定の ポイント



指はさみや転倒の事故を防ぐために、ドアストッパーやドアクローザーの設置、段差の解消などを行い、安全性に配慮しましょう。



抗菌・抗ウイルス加工により、衛生的な状態を保つことも効果的ですが、アルコールなど薬品を用いた清掃に対応しているとより安心です。

健康に資する室内ドア・引き戸 <性能リスト>

<求められる性能>

指はさみ、つまづき・転倒といった思わぬ事故に対する安全面の配慮があり、ウイルスや菌の家庭内感染リスクを抑制するものとして、取っ手やハンドルに抗菌加工等の衛生面の配慮があるもの。

要素	音	安全	清潔
キーワード	部屋の音漏れを軽減	安全面の配慮がある	清潔に保つ
仕様・性能・機能	部屋からの気になる音漏れを軽減 (テレワークなど、防音・遮音)	指はさみ予防のための機能 (ドアストッパー、ドアクローザー、指はさみ防止カバーなど) 床のレールや段差が無いなど、バリアフリー対応 (転倒予防)	取っ手・ハンドルに抗菌・抗ウイルス加工 取っ手・ハンドルがアルコールや薬品による清掃可能 (耐薬品性能)
必須			
任意			

<内装建材>

壁材・天井材

健康に資する壁材・天井材 <選定のポイント>

健康への 影響

化学物質などが原因で、めまいや頭痛などの症状が発生することがあります。

<想定される健康リスク>

- ・シックハウス症候群
- ・化学物質過敏症

室内の湿度が乾燥しすぎて、風邪に引きやすくなったり、湿度が高すぎて結露・カビの原因となったりすることがあります。

湿度をちょうどよくコントロール（調湿）できれば、様々な疾患を引き起こすリスクを軽減できます。

健康に 資する キーワード

空気

きれいな空気

快適

こちよい室内

選定の ポイント



ホルムアルデヒドや4VOCなど化学物質の放散量が少ない建材ならシックハウス対策にも安心です。

※F☆☆☆☆や4VOC基準をクリアした建材をおすすめします。



室内の湿度環境を整え、過乾燥やジメジメを改善することで、快適にすごせます。
※調湿性ある建材をおすすめします。

健康に資する壁材・天井材 <性能リスト>

<求められる性能>

健康的な室内空気環境を保持でき、有害な物質を室内に発散しないもの。また、湿度を快適に調整することで、過乾燥、室内の結露防止によるカビやダニなどの発生を抑えることができるもの。

要素	空気	快適	音
キーワード	きれいな空気	こちよい室内	快適な音環境
仕様・性能・機能	ホルムアルデヒド発散等級 F☆☆☆☆ 及び4VOC基準適合品 室内のホルムアルデヒド、4VOCを 低減 室内の気になるニオイを低減	室内の湿度を快適に調整 (調湿性能) ※建産協調湿マーク	室内の不快感の響きを軽減 (吸音性能) ※吸音率を規定
必須			
任意			

＜内装建材＞

床材（畳も含む）

健康に資する床材（畳も含む）＜選定のポイント＞

健康への 影響

化学物質などが原因で、めまいや頭痛などの症状が発生することがあります。

＜想定される健康リスク＞

- ・シックハウス症候群
- ・化学物質過敏症

居室や廊下などで、乳幼児や高齢者の思わぬ転倒事故を予防するためには、床の滑りにくさへの配慮が望まれます。

＜想定される健康リスク＞

- ・滑り、転倒

健康に 資する キーワード

空気

きれいな空気

安全

安全面の配慮がある

選定の ポイント



ホルムアルデヒドや4VOCなど化学物質の放散量が少ない建材ならシックハウス対策にも安心です。

※F☆☆☆☆や4VOC基準をクリアした建材をおすすめします。



滑りや転倒の事故を防ぐために、滑りに配慮した床材をおすすめします。

健康に資する床材（畳も含む）＜性能リスト＞

＜求められる性能＞

健康的な室内空気環境を保持でき、有害な物質を室内に発散しないもの。また、乳幼児や高齢者の歩行のしやすさ（滑って転倒しにくい＝滑りにくさ）への配慮があるもの。

要素	空気	安全	清潔
キーワード	きれいな空気	安全面の配慮がある	清潔に保つ
仕様・性能・機能	ホルムアルデヒド発散等級 F☆☆☆☆ 及び4VOC基準適合品	床面の滑りにくさに配慮 （滑り、転倒予防） ※CSR値0.4～0.5程度(靴下)	床表面に抗菌・抗ウイルス加工
必須		クッション性のある仕上げ （転倒したときの衝撃低減性能） ※G値100G以下 （Gs値980m/s2以下）	アルコールや薬品による清掃可能 （耐薬品性能）
任意			